

## 放山 山スキー

仲平

【日時】 2015年3月14日(土)～3月15日(日)

【メンバー】 L鈴木、仲平、他会2名

入会后、山スキーメンバーからカニ山行のお話をいろいろとお聞きしていて、新人ながら参加したいと思っていたらありがたいことに参加させていただくことになりました。入会后、宴会山行しか参加していない気がする…今後は自分に厳しくしていきます。

3/14

駅の駐輪場で前泊後、朝一で能生の道の駅でカニの買出しからカニ山行は始まります。まだ朝早かったからか、お店の人たちがカニを並べている最中でしたが、お店ごとにカニを試食させていただき朝から幸せ。お店によってカニの湯で具合と塩加減が違うのでいろいろと食べ比べるといいです。

シャルマン火打スキー場からはリフトに乗って終点から放山に向かいます。終点からはスキーにシールを貼って歩き始める。登っていくうちにガスと風が強くなり、まわりは真っ白。放山まで上がると風が強くなりカニを食べるどころではなくなるとのこと。放山手前のコルでテントをはることに。雪のテーブルとイスを作り上にツェルトを張り宴会会場完成。

まだお昼ですが、早速酒とカニをいただきます。まさか雪山でカニをいただけるなんて思ってもなかった…

カニ以外にも、鈴木さんおススメの泥エビを生でいただきます。見た目は悪いけど甘くて美味しい♪ 幻魚の干物も美味しかった。驚いたのが鍋に油を注ぎ天ぷらを始めたこと。まさか山の中で天ぷらを作るなんて…カニと泥エビを天ぷらにしたらさらに甘味が増しました。(泥エビの頭としっぽも天ぷらにするといいおつまみになるのですね!)

他にも、イカの丸干し、ヒラメの干物、カスベの煮物もありがたみの贅沢なつまみをいただきました♪

宴会後はテントでキムチ鍋の夕飯もしっかりと完食してぐっすり就寝。

3/15

天気予報はいいほうに外れ雲ひとつない快晴の空。

荷物はテントに置いたまま放山に向かいます。山頂着後は空沢山へ続く尾根を南下し景色を堪能に行く。北に鉾が岳、日本海、南に火打山、焼山。360度の大展望を楽しめる。写真をたくさん撮って景色を堪能した後は、放山から少し来た道を戻





り、西飛山ダムへの東面尾根を滑ることに。  
傾斜はあまりきつくないオープンバーンで滑りやすいが転びまくる。皆  
さんは華麗な滑り。850 mくらいまで下りてくると、藪がひどくなってきたので無理して下るのはやめて登り返すことに。  
尾根を1時間ほど登り荷物デポ地に戻る。テン場前もいい斜面があるので登り返して滑ることに。このころにはスキー場から来た山スキーヤーの団体も登ってきてました。  
テン場からスキー場へはシールはつけずに滑って戻れたがリフト終点場所へは少し登り返しがあるのでスキーを担ぐかシールを付けることが必要でした。  
リフト終点で休憩後、重い荷物を背負って長いゲレンデを滑って下りるのがつらかったです。



- 【行程】 3/14 シャルマン火打スキー場 (10:00) ~テン場 (11:30)  
3/15 テン場 (7:15) ~放山山頂~ (7:40) ~西飛山ダム方面 850 m (8:30) ~テン場  
(10:20/10:50) ~シャルマン火打スキー場(11:30)
- 【地図】 湯川内